

令和5年8月7日
相模原市発表資料

令和5年上半期(1月～6月)における市内の火災及び救急の概要について

令和5年上半期(1月～6月)における市内の火災及び救急の概要を取りまとめましたので、次のとおりお知らせします。

1 火災の概要について

市内で79件(前年同期比12件減)の火災が発生し、死者は4人(前年同期比3人増)で、負傷者は16人(前年同期比5人増)です。

火災原因等の詳細は、別紙1のとおりです。

2 救急の概要について

救急出場件数は20,514件(前年同期比974件増)、搬送人員は、16,794人(前年同期比232人増)で、共に過去最多となっています。

事故種別ごとの件数等の詳細は、別紙2のとおりです。

問い合わせ先

消防局 消防部 予防課(火災関係)

042-751-9117

警防部 救急課(救急関係)

042-751-9142

令和5年上半期(1月～6月)における火災の概要(速報値)

令和5年上半期(1月～6月)に市内で79件の火災が発生しました。
火災による死者は4人で、負傷者は16人です。

1 火災の発生状況

(1) 火災件数は、前年同期と比べ12件の減少

火災件数は79件で、前年同期と比べると12件減少しています。

火災種別ごとに見ると、前年同期と比べ、建物火災は46件で5件減、林野火災は2件で2件減、車両火災は5件で4件減、その他の火災は26件で1件減となっています。

(2) 出火原因の第1位は「たばこ」、続いて「配線器具」、「こんろ」及び「放火(疑い含む)」

全火災79件を出火原因別に見ると、「たばこ」が16件(20.3%)で1位、続いて「配線器具」が9件(11.4%)、「放火(疑い含む)」及び「こんろ」がそれぞれ5件(6.3%)、「電気機器」4件(5.1%)、「ストーブ」、「マッチ・ライター」及び「火遊び」がそれぞれ3件(3.8%)の順となっています。

(3) 火災による死者は4人、前年同期と比べ3人の増加

火災による死者は4人で、前年同期と比べると3人増加しています。

火災種別で見ると、建物火災で2人、車両火災で2人亡くなりました。

火災による負傷者は16人で、前年同期と比べると5人増加しています。

(4) 前年同期と比べ建物焼損棟数、損害額、焼損面積は減少

焼損棟数は56棟で、前年同期と比べると8棟減少しています。

建物の焼損面積は708㎡で前年同期と比べると732㎡減少しています。

損害額は3,249万7千円で前年同期に比べると5,129万1千円減少しています。

2 火災概況

項目		令和5年上半期	令和4年上半期	増減	
合計（件数）		79	91	△12	
火災種別	建物	件数	46	51	△5
		面積(m ²)	708	1,440	△732
	林野	件数	2	4	△2
		面積(a)	42	17	25
	車両		5	9	△4
	船舶		0	0	0
	航空機		0	0	0
	その他	件数	26	27	△1
面積(m ²)		5,214	10,869	△5,655	
原因別	失火(構成比)		59 (74.7%)	71 (78.0%)	△12
	放火(疑い含む)(構成比)		5 (6.3%)	18 (19.8%)	△13
	不明(構成比)		15 (19.0%)	2 (2.2%)	13
焼損棟数		56	64	△8	
り災世帯		36	49	△13	
り災人員		74	90	△16	
死者		4	1	3	
負傷者		16	11	5	
損害額(千円)		32,497	83,788	△51,291	

* 構成比については、小数点以下第2位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

3 出火原因

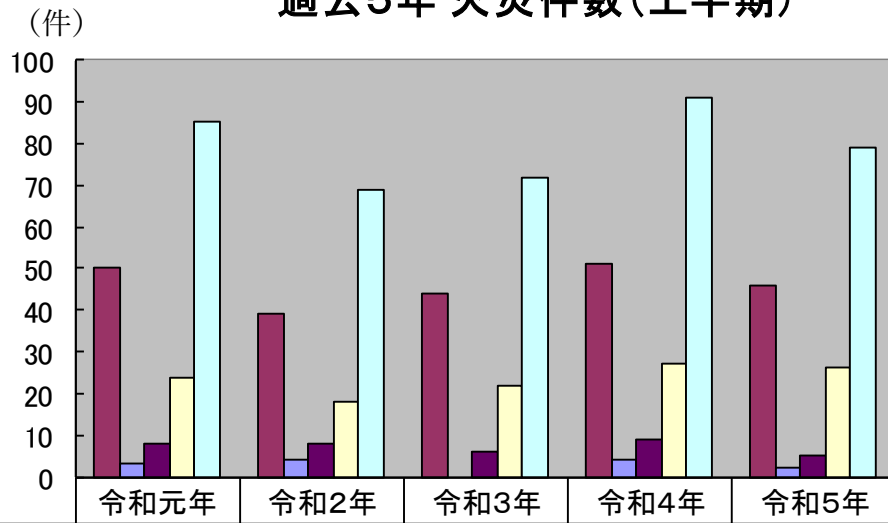
令和5年上半期 79 件			令和4年上半期 91 件		
順位	出火原因	件数	順位	出火原因	件数
1	たばこ	16 (20.3%)	1	放火(疑い含む)	18 (19.8%)
2	配線器具	9 (11.4%)	2	たばこ	13 (14.3%)
3	放火(疑い含む)	5 (6.3%)	3	電気機器	7 (7.7%)
3	こんろ	5 (6.3%)	4	たき火	5 (5.5%)
4	電気機器	4 (5.1%)	4	ストーブ	5 (5.5%)
5	ストーブ	3 (3.8%)	5	こんろ	4 (4.4%)
5	マッチ・ライター	3 (3.8%)	5	配線器具	4 (4.4%)
5	火遊び	3 (3.8%)			
その他		31 (39.2%)	その他		35 (38.5%)

* 括弧内は合計件数における構成比

* 構成比については、小数点以下第2位を四捨五入

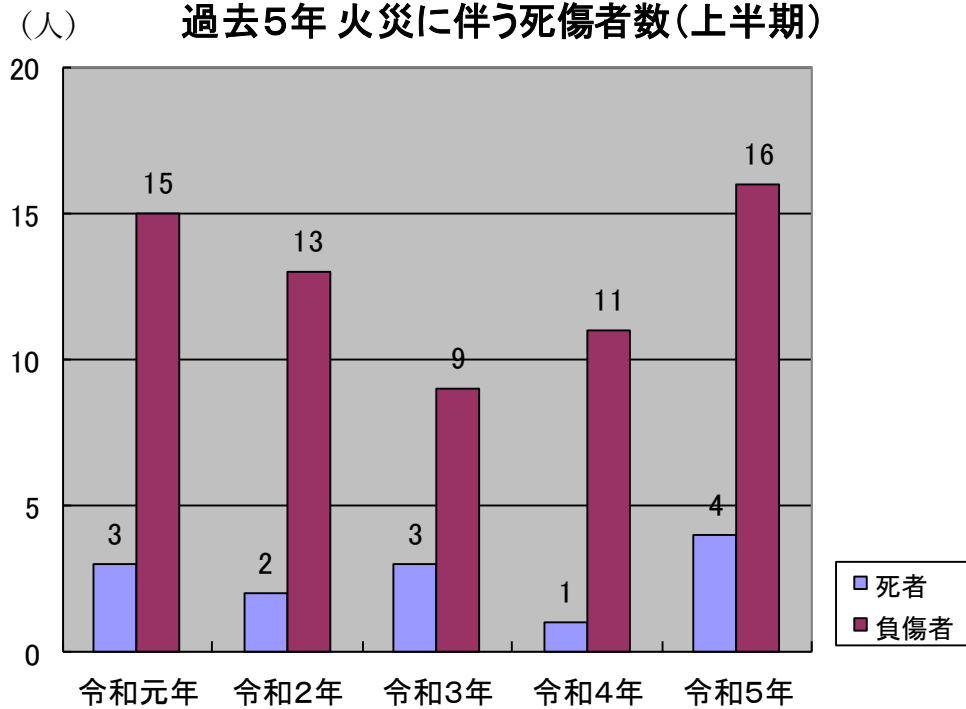
* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

過去5年 火災件数(上半期)



	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
建物	50	39	44	51	46
林野	3	4	0	4	2
車両	8	8	6	9	5
その他	24	18	22	27	26
合計	85	69	72	91	79

過去5年 火災に伴う死傷者数(上半期)



令和5年上半期(1月～6月)における救急の概要(速報値)

救急出場件数は20,514件、搬送人員は16,794人で、共に増加となりました。上半期として過去最多を更新しました。

1 救急業務の実施状況

(1) 救急出場件数は前年同期と比べ974件増加し、過去最多を更新

令和5年上半期の救急出場件数は20,514件、搬送人員は16,794人で、前年同期と比べ救急出場件数は974件、搬送人員は232人増加しています。上半期の救急出場件数及び搬送人員は、共に過去最多を更新しました。

(2) 救急出場の事故種別の第1位は「急病」、続いて「一般負傷」、「転院搬送」

救急出場の事故種別順位としては、「急病」(13,820件 67.4%)が最も多く、「一般負傷」(3,030件 14.8%)、「転院搬送」(1,451件 7.1%)、「交通事故」(1,160件 5.7%)と続いています。

(3) 65歳以上の高齢者の搬送割合は、前年同期と比べ0.5ポイント増

65歳以上の高齢者の搬送人員は、9,809人(前年同期比44人増)で、全体の搬送人員の58.4%(前年同期比0.5ポイント増)となっています。

(4) 乳幼児の搬送人員は、前年同期と比べ39.9パーセント増

乳幼児の搬送人員は1,027人(前年同期比293人増)で、前年同期と比べ39.9%増加しており、全体の搬送人員に占める割合も1.7ポイント増加しています。【6 乳幼児の搬送人員が増加 参照】

(5) 軽症者の搬送人員の割合は、前年同期と比べ4.4ポイント増

軽症者の搬送人員は、8,522人(前年比362人増)で、全体の搬送人員の50.7%(前年同期比4.4ポイント増)となっています。

2 救急概要

事故種別 区分		令和5年上半期		令和4年上半期		増減(C) (A-B)	増減率(%) (C/B×100)	
		(A)		(B)				
救急出場件数		20,514		19,540		974	5.0%	
傷病者搬送件数		16,719		16,489		230	1.4%	
不搬送件数		3,795		3,051		744	24.4%	
事故種別 内訳	火災	54	(0.3%)	62	(0.3%)	△8	△12.9%	
	自然災害	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0.0%	
	水難	4	(0.0%)	5	(0.0%)	△1	△20.0%	
	交通	1,160	(5.7%)	1,135	(5.8%)	25	2.2%	
	労働災害	125	(0.6%)	126	(0.6%)	△1	△0.8%	
	運動競技	101	(0.5%)	88	(0.5%)	13	14.8%	
	一般負傷	3,030	(14.8%)	2,747	(14.1%)	283	10.3%	
	加害	71	(0.3%)	75	(0.4%)	△4	△5.3%	
	自損行為	203	(1.0%)	219	(1.1%)	△16	△7.3%	
	急病	13,820	(67.4%)	13,135	(67.2%)	685	5.2%	
	その他	転院搬送	1,451	(7.1%)	1,359	(7.0%)	92	6.8%
		医師搬送	9	(0.0%)	11	(0.1%)	△2	△18.2%
		資材搬送	1	(0.0%)	1	(0.0%)	0	0.0%
その他		485	(2.4%)	577	(3.0%)	△92	△15.9%	
搬送人員		16,794		16,562		232	1.4%	
性別	男性	8,778		8,587		191	2.2%	
	女性	8,016		7,975		41	0.5%	
程度別	死亡	143	(0.9%)	138	(0.8%)	5	3.6%	
	重症	1,411	(8.4%)	1,444	(8.7%)	△33	△2.3%	
	中等症	6,718	(40.0%)	6,820	(41.2%)	△102	△1.5%	
	軽症	8,522	(50.7%)	8,160	(49.3%)	362	4.4%	
	その他	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0%	
活動	ドクターカー使用	65		71		△6	△8.5%	
	ドクターヘリ使用	2		5		△3	△60.0%	

* 小数点第2位を四捨五入

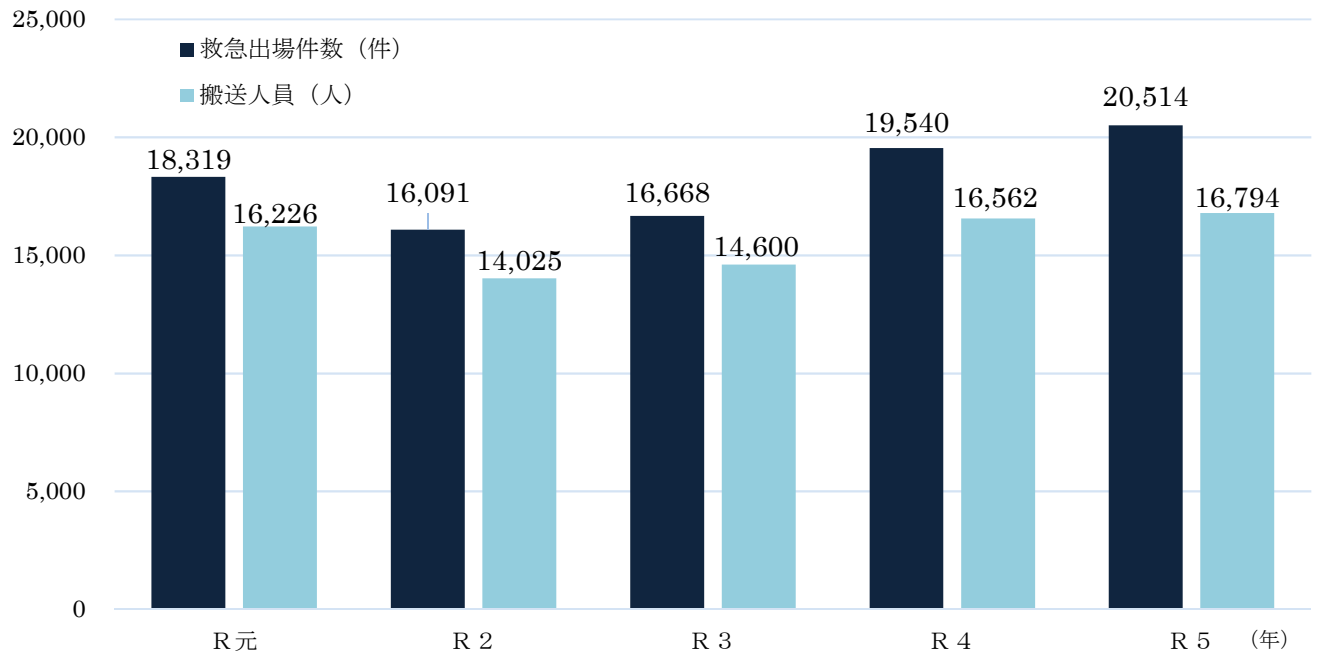
* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

* 事故種別内訳の括弧内は搬送件数に対する割合

* 程度別の括弧内は搬送人員に対する割合

(件・人)

過去5年間上半期の救急出場件数及び搬送人員の推移



3 救急隊別活動状況

隊別		令和5年上半期		令和4年上半期		前年比	
		出場件数	構成比	出場件数	構成比	比較増減	増減率
相模原署	本署1	1,582	7.7%	1,594	8.2%	△12	△0.8%
	本署2	1,587	7.7%	1,512	7.7%	75	5.0%
	田名	982	4.8%	888	4.5%	94	10.6%
	淵野辺	1,437	7.0%	1,386	7.1%	51	3.7%
	緑が丘	1,313	6.4%	1,223	6.3%	90	7.4%
	上溝	1,249	6.1%	1,170	6.0%	79	6.8%
南署	本署1	1,630	7.9%	1,566	8.0%	64	4.1%
	本署2	386	1.9%	365	1.9%	21	5.8%
	新磯	781	3.8%	693	3.5%	88	12.7%
	大沼	1,417	6.9%	1,302	6.7%	115	8.8%
	相武台	1,388	6.8%	1,299	6.6%	89	6.9%
	上鶴間	1,315	6.4%	1,254	6.4%	61	4.9%
北署	本署	1,206	5.9%	1,160	5.9%	46	4.0%
	大沢	884	4.3%	883	4.5%	1	0.1%
	相原	1,033	5.0%	992	5.1%	41	4.1%
	城山	888	4.3%	889	4.5%	△1	△0.1%
津久井署	本署	488	2.4%	480	2.5%	8	1.7%
	派出所	549	2.7%	526	2.7%	23	4.4%
	藤野	284	1.4%	252	1.3%	32	12.7%
	青根	115	0.6%	106	0.5%	9	8.5%
計		20,514	100%	19,540	100%	974	5.0%

* 小数点第2位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

* 南本署2は日勤救急隊

4 事故種別搬送人員状況

事故種別 順位		令和5年上半期		令和4年上半期		前年比	
		搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
1	急病	11,276	67.1%	11,250	67.9%	26	0.2%
2	一般負傷	2,582	15.4%	2,461	14.9%	121	4.9%
3	転院搬送	1,440	8.6%	1,353	8.2%	87	6.4%
4	交通	1,077	6.4%	1,064	6.4%	13	1.2%
5	自損行為	133	0.8%	160	1.0%	△27	△16.9%
6	労働災害	126	0.8%	121	0.7%	5	4.1%
7	運動競技	99	0.6%	84	0.5%	15	17.9%
8	加害	44	0.3%	56	0.3%	△12	△21.4%
9	火災	15	0.1%	10	0.1%	5	50.0%
10	水難	1	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
11	その他	1	0.0%	2	0.0%	△1	△50.0%
12	自然災害	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計		16,794	100%	16,562	100%	232	1.4%

* 小数点第2位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

5 年齢別搬送人員

年齢区分	令和5年上半期		令和4年上半期		前年比	
	搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
新生児（生後28日未満）	52	0.3%	44	0.3%	8	18.2%
乳幼児（生後28日以降から7歳未満）	1,027	6.1%	734	4.4%	293	39.9%
少年（7歳から18歳未満）	591	3.5%	546	3.3%	45	8.2%
成人（18歳から65歳未満）	5,315	31.6%	5,473	33.0%	△158	△2.9%
高齢者（65歳以上）	9,809	58.4%	9,765	59.0%	44	0.5%
合計	16,794	100.0%	16,562	100.0%	232	1.4%

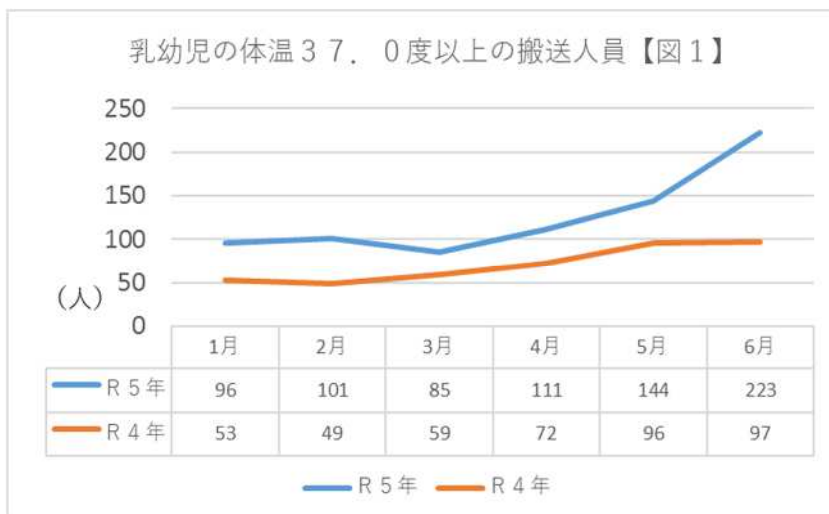
* 小数点第2位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

6 乳幼児の搬送人員が増加

(1) 乳幼児の搬送人員は、1,027人（前年同期比293人増）で、全体の搬送人員に占める割合も1.7ポイント増加しています。

(2) 乳幼児で体温37.0度以上の発熱を伴う搬送人員が760人（前年同期比334人増）で、月別では、6月に223人で、前年同期の約2.3倍増加しています。【図1】



7 救急車の適正利用

上半期の救急件数として過去最多を更新しており、救急車の出場が多くなっています。夜間や休日にどこの医療機関に受診してよいかわからない場合は、相模原救急医療情報センター（電話 042-756-9000）を活用してください。また、夜間に子どもの体調が急変した場合の相談は、かながわ小児救急ダイヤル（#8000 もしくは、050-3490-3742）を活用してください。「緊急ではない」「交通手段がない」などの場合は、相模原市消防局認定の患者等搬送事業者（有料）の利用も検討してください。

「反応がない」「呼吸がない」など緊急を要する場合は、ためらわずに119番通報で救急車を要請してください。

※相模原救急医療情報センター（電話 042-756-9000）対応時間

平日：午後5時から翌朝9時まで

土曜日：午後1時から翌朝9時まで

日曜日・祝日等・年末年始：午前9時から翌朝9時まで

※かながわ小児救急ダイヤル（電話#8000 もしくは、050-3490-3742）対応時間

毎日：午後6時から翌朝8時まで

～救急車や救急医療は**限りある資源**です～

救急出場件数は、年々増加傾向にあります。その半数は、入院を要さない軽症の方です。「**救える命**」を救うために、皆様のご理解とご協力をお願いします。

救急車の不適正利用例



× 交通手段がない



× 優先的に診てもらえる



× 救急車は無料だから

× どこの病院に行けばいいかわからない



× 夜間・休日の診療時間外だった

